

2月

スクールカウンセラーだより

No.9

大池中学校スクールカウンセラー 大和 誠一

今年は2月3日が立春で、暦の上ではもう春と言いますが、寒い日が続きますね。

その前の日が節分で「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをしたものです。けれど、子どもが大きくなってからはまるでしなくなっていました。店先に炒った大豆と鬼のお面が売っているのを見るとそんなことが思い出されます。大きくなった私の子どもに、なぜ豆まきをしないのかと理由を聞いたことはありません。子どもは豆まきなど幼い子のすることだと思えるようになったのだろうと、親が勝手に思い込んでいたのです。そこに、意見の交流はありませんでした。



子どもが小さい頃、社会のシキタリやルールなど教えるのは親の務めだと必死になってやってきたように思います。子どもが大きくなるとちっとも親の言うことなど聞かなくなってしまったので、言うことも減ってきました。我が子も反抗期に入ったら諦めたのかもしれませんが。

今にして思えば、どうも違うような気がしています。青年期の子ども達は、今まで親や社会が一方的に伝達してきた「知識」をそのまま受け止めるだけではおかしいと感じていたのではないかと思います。何がどのようにおかしいのかは言葉で説明することが難しいため、不機嫌な行動となっていたのです。

このことは「豆まき」に限ったことではありません。「なぜ親の言うことを聞かなくてはいけないのか」「なぜ勉強しなくてはいけないのか」と今まで声に出せなかった疑問を不機嫌な行動として表わしているのではないのでしょうか。

現在の子どもの教育は、知っている者から知らない者への一方的な知識の伝達に重点が置かれ、自分の思いや感情を相互に伝え合うことが減ってきているように感じられます。人は、自分の思いや感情を表現したいという欲求を持っています。それが今日、SNSの発展に繋がったのでしょうか。SNSの前に家族や地域社会がその役割を果たせるようになりたいものです。

理解しづらい子どもの行動に対して、カウンセリングをご利用ください。

カウンセリングのご案内

日時：金曜日 10時～16時45分 3月7日まで

場所：3階カウンセリングルーム（1年生の教室の上）

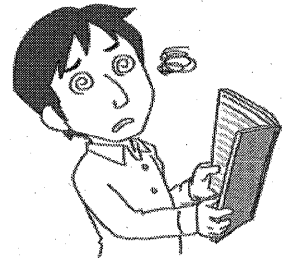
予約：教頭先生か相談担当（野口先生）か担任の先生に予約してください。

生徒のみなさんへ

みなさんは、時々「なぜ勉強しなければいけないのだろう」と疑問に思ったことはありませんか。いい成績をとって、いい学校へ行って、いい会社に入るためと一般には言われています。だから、自分のために勉強するんだよ、と多くの人は言います。

でも、別に自分のためになら、しなくてもいいと思って勉強などしなくなるでしょうね。苦しい思いをして過ごすよりは、今好きなこととして楽しく暮らしたいと思っている人も勉強などしないでしょう。

勉強するのは自分のためだと思っているからそんな好き勝手なことができるのです。



実は、「勉強は人のためにする」のです。

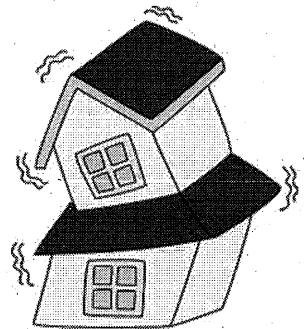
だって勉強すれば、親が喜ぶでしょう。先生も周りの人も喜びます。

お医者さんは、手術を失敗しないように勉強する。あなたは、勉強しない下手な医者に手術してもらいたいですか？

運転手は、正確で安全な運転技術を勉強する。あなたは、よく事故を起こす運転手の乗り物に乗りたいですか？

建築士は、地震に耐える家の強度を計算で求める。どんな計算をしていいのか分からない人が作った家に安心して住めますか？

このようにみんな人のために勉強しているのです。そして、勉強したことがみんなから感謝され喜ばれます。自分もうれしくなります。



苦しいと思っていた勉強も、人のためにする勉強は、楽しいものです。

中学校時代の勉強は、世の中に出てどんな役にたつの？と疑問に思うことばかりでしょう。ほとんど役に立たないと思う人が多いでしょう。ただ、勉強をするということが大切なのです。脳は、行動（勉強する等）によって発達するからです。

疑問に思うことがありましたら、カウンセラーに相談してみてください！！